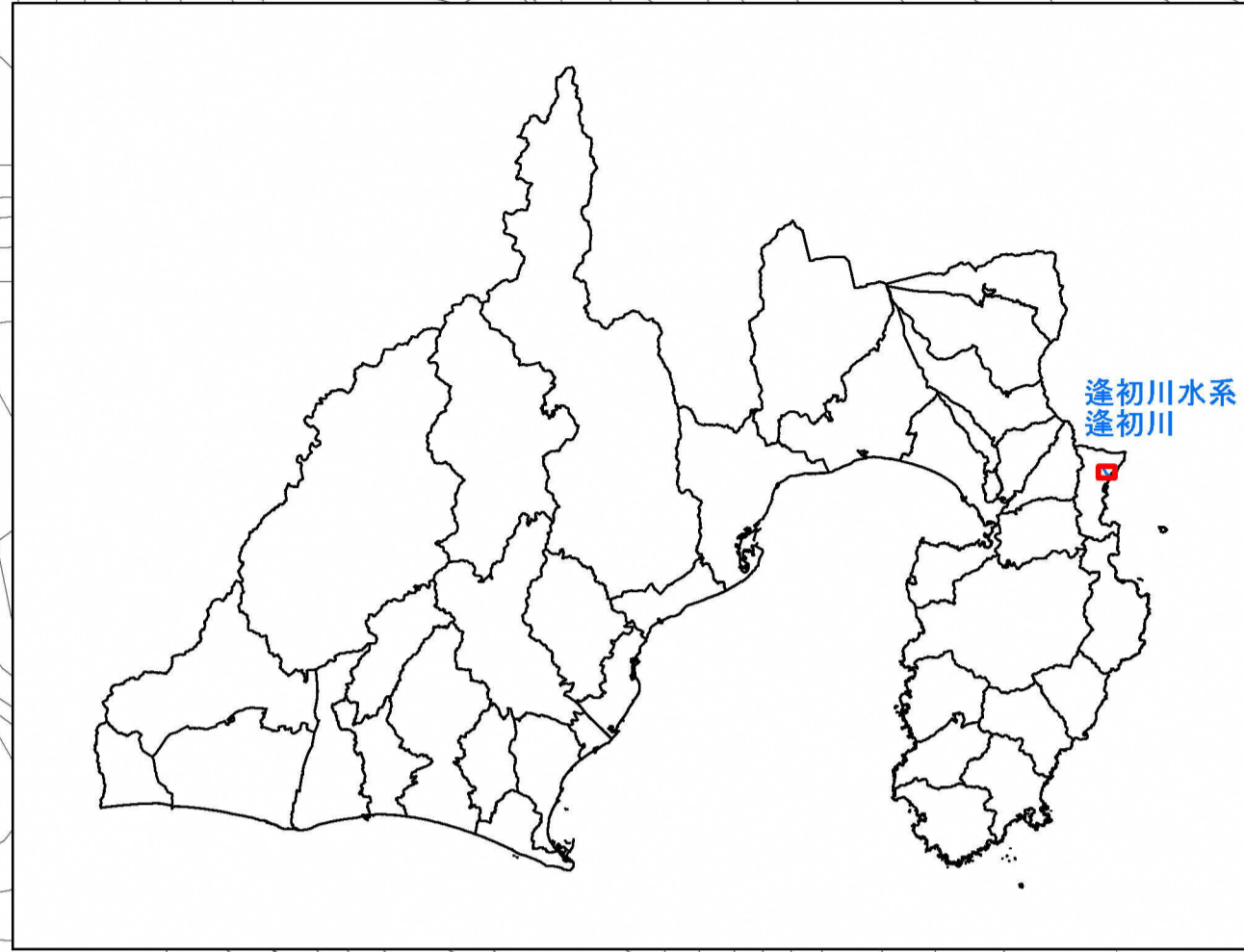


逢初川水系逢初川 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



熱海市

東海道新幹線

東海道本線

国道135号

- 1) 説明文
- この図は逢初川水系逢初川について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域図は、指定時点の河道形状等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により逢初川が氾濫した場合の浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、対象河川以外の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を越える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合があります、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2) 基本事項等
- | | |
|-----------|---|
| ① 作成主体 | 静岡県 |
| ② 指定年月日 | 令和8年3月31日 |
| ③ 告示番号 | 静岡県告示第213号 |
| ④ 指定の根拠法令 | 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項 |
| ⑤ 対象となる河川 | 逢初川水系逢初川(実施区間)
左岸:熱海市伊豆山字赤井谷1079番の23地先から海に至る
右岸:熱海市伊豆山字赤井谷1076番地先から海に至る
逢初川流域の18時間総雨量772mm |
- ⑥ 前提となる降雨
⑦ 関係市
熱海市
- 3) その他計算条件等
- この図は、逢初川の県が管理する区間で、「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」(令和5年7月)等に基づき、越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。
 - 氾濫計算は、対象区間をおよそ5m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
 - 浸水が想定される区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
1.0~3.0m未満の区域	
0.5~1.0m未満の区域	
0.3~0.5m未満の区域	
0.3m未満の区域	
河川等範囲	
浸水想定区域の公表の対象となる河川	

※この図は、令和8年3月末時点の復旧工事の進捗を考慮した河道形状等を踏まえ、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により逢初川が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

